

購入材料一覧表

番号	品名	サイズ	数量	単位	現物確認	同等品
①	青銅製仕切弁	φ 40	1	組	否	可
②	円形鉄蓋 1 号（バルブ用）	φ 250 H=150mm	1	個	否	否
③	円形鉄蓋 3 号（消火栓用）	φ 500	1	個	否	否
④	修理用クランプ	φ 50 幅75mm	1	個	否	可
⑤	MCユニオン	φ 25	2	個	否	可
⑥	MCユニオン	φ 40	2	個	否	可
⑦	サドル付分水栓（ボール式）	φ 300×φ 50	1	個	否	可
⑧	分水栓キャップ	φ 20	5	個	否	可
⑨	止水栓袋ナット	φ 25	5	個	否	可
⑩	ガイド付袋ナット	φ 25	4	個	否	可
⑪	HIVPパイプ	φ 25	4	本	否	可
⑫	甲形止水栓	φ 20	2	個	否	可
⑬	甲形止水栓	φ 25	2	個	否	可
⑭	仕切弁コンクリート枠用調整リング	KA3-PP	2	個	否	可
⑮	仕切弁コンクリート枠用調整リング	KA3%-PP	4	個	否	可
⑯	仕切弁コンクリート枠用調整リング	KA5%-PP	2	個	否	可
⑰	消火栓コンクリート枠用調整リング	GK3-RP	2	個	否	可
⑱	消火栓コンクリート枠用調整リング	G5：長辺3%勾配	2	個	否	可
⑲	レジンコンクリート製ボックス上部壁	φ 250 H=150mm	2	個	否	可
⑳	レジンコンクリート製ボックス上部壁	φ 500 H=200mm	1	個	否	可
㉑	レジンコンクリート製ボックス鉄蓋下部壁	φ 250 H=300mm	1	個	否	可
㉒	レジンコンクリート製ボックス底版	φ 250 H=40mm	1	個	否	可
㉓	レジンコンクリート製ボックス調整リング	φ 250 H=10mm 3%	2	個	否	可
㉔	レジンコンクリート製ボックス調整リング	φ 500 H=10mm 3%	1	個	否	可
㉕	レジンコンクリート製ボックス調整リング	φ 500 H=10mm 5%	1	個	否	可
㉖	変換アダプター	φ 500	1	個	否	可
㉗	レジンコンクリート製ボックス用（緊結）ボルト	M12×110mm	1	組	否	可
㉘	レジンコンクリート製ボックス用（緊結）ボルト	M12×150mm	1	組	否	可
㉙	レジンコンクリート製ボックス用（緊結）ボルト	M16×110mm	1	組	否	可
㉚	止水栓ボックス	H=300mm	6	個	否	可

仕 様 書

本仕様書は、給水管修理用材料等の購入について適用し、この仕様書に記載されていない事項であっても、これに付随して必要と認められる部分は、契約金額の範囲内で実施するものとする。

①	名称	青銅製仕切弁
	規格	—
	仕様詳細	・ $\phi 40$ ・ 平行オネジ式、丸ハンドル型（別紙 A）参照 ・ 付属品：ガイド付袋ナット×1個【参考製品 前澤給装工業（株） 品番821132-40】 - メーター袋ナット×1個【参考製品 前澤給装工業（株） 品番821106-40】 - HIVPシモク×2個、メーターパッキン×2枚

②	名称	円形鉄蓋 1 号（バルブ用）
	規格	JWWA B132
	仕様詳細	・ 詳細は（別紙 D）に記載

③	名称	円形鉄蓋 3 号（消火栓用）
	規格	JWWA B132
	仕様詳細	・ 詳細は（別紙 B）～（別紙 D）に記載

④	名称	修理用クランプ
	規格	—
	仕様詳細	・ $\phi 50$ 幅75mm ・ 型式 SCS（フルカバー） ・ 管種 VP・SP・PE ・ 適応外径 VP60.00mm/SP60.50mm/PE60.00mm ・ 使用ボルト数 1 本（幅75mm）

仕 様 書

本仕様書は、給水管修理用材料等の購入について適用し、この仕様書に記載されていない事項であっても、これに付随して必要と認められる部分は、契約金額の範囲内で実施するものとする。

⑤	名称	MCユニオン
	規格	—
	仕様詳細	・ $\phi 25$ ・ 参考製品【130106アロン化成】（別紙E）参照

⑥	名称	MCユニオン
	規格	—
	仕様詳細	・ $\phi 40$ ・ VP-VP用ボルト締めで1組×2セット [ボルト (M12) × 2、ナット×2、ワッシャー×2] ・ 材質はJISG3505軟鋼線材に準ずる ・ フランジ回り止めはボルト頭側のみとする

⑦	名称	サドル付分水栓（ボール式）
	規格	JWWA B117及び日水協準拠品（JWWA B117）
	仕様詳細	・ DIP $\phi 300 \times \phi 50$ ・ 粉体塗装 ・ 防食フィルム、インサートスリーブ（銅コア）を含むもの

⑧	名称	分水栓キャップ
	規格	JWWA B117及び日水協準拠品（JWWA B117）
	仕様詳細	・ $\phi 20$

⑨	名称	止水栓袋ナット
	規格	—
	仕様詳細	・ $\phi 25$ ・ 砲金製袋ナット 参考製品：品番821108-25（前澤給装工業）

仕 様 書

本仕様書は、給水管修理用材料等の購入について適用し、この仕様書に記載されていない事項であっても、これに付随して必要と認められる部分は、契約金額の範囲内で実施するものとする。

⑩	名称	ガイド付袋ナット
	規格	—
	仕様詳細	・ $\phi 25$ ・ 砲金製ガイドナット 参考製品：品番821132-25（前澤給装工業）

⑪	名称	耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管（HIVPパイプ）
	規格	JIS K 6742
	仕様詳細	・ $\phi 25$ ・ 色は暗い灰青色限定

⑫～⑬	名称	甲型止水栓
	規格	JWWA B 108
	仕様詳細	・ ⑫ $\phi 20$ ・ ⑬ $\phi 25$ ・ キャップ式（コマ式）、平行オネジ式、キャップは黄銅ダイカスト、キャップ止めネジはステンレス鋼線（SUS）、ガスケット、キスコマパッキン

⑭～⑯	名称	仕切弁コンクリート枠用調整リング
	規格	—
	仕様詳細	・ ⑭～⑯24型用（ $\phi 250$ ）

⑰～⑱	名称	消火栓コンクリート枠用調整リング
	規格	—
	仕様詳細	・ ⑰～⑱35×45用（内径350×450）

仕 様 書

本仕様書は、給水管修理用材料等の購入について適用し、この仕様書に記載されていない事項であっても、これに付随して必要と認められる部分は、契約金額の範囲内で実施するものとする。

①⑨～②⑩	名称	レジンコンクリート製ボックス（上部壁）
	規格	JWWA K148
	仕様詳細	・ ①⑨ ϕ 250 H=150mm ・ ②⑩ ϕ 500 H=200mm

②①	名称	レジンコンクリート製ボックス（鉄蓋下部壁）
	規格	JWWA K 148
	仕様詳細	・ ϕ 250 H=300mm ・ 鉄蓋設置型下部壁（通常の下部壁ではなく、鉄蓋を直接設置可能）

②②	名称	レジンコンクリート製ボックス（底版）
	規格	JWWA K148
	仕様詳細	・ ϕ 250 H=40mm（レジンコンクリート製ボックス下部壁の下に設置するもの）

②③～②⑤	名称	レジンコンクリート製ボックス調整リング
	規格	—
	仕様詳細	・ ②③ ϕ 250 H=10mm 3% ・ ②④ ϕ 500 H=10mm 3% ・ ②⑤ ϕ 500 H=10mm 5%

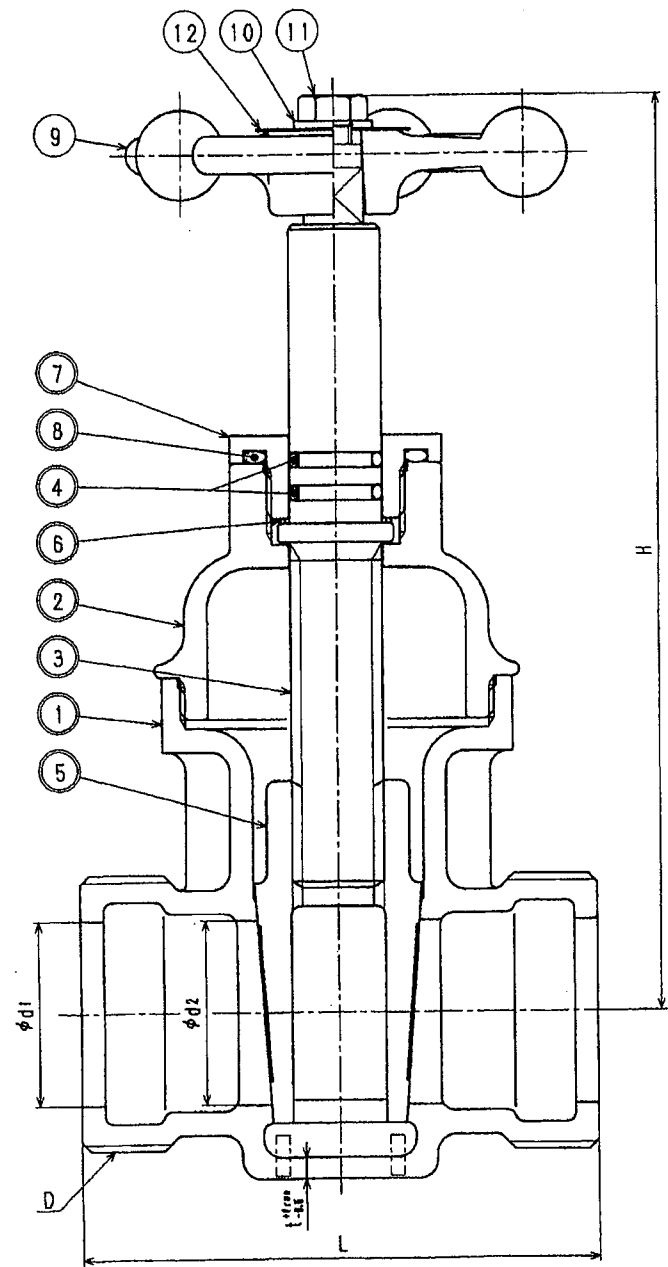
仕 様 書

本仕様書は、給水管修理用材料等の購入について適用し、この仕様書に記載されていない事項であっても、これに付随して必要と認められる部分は、契約金額の範囲内で実施するものとする。

②⑥	名称	レジンコンクリート製ボックスへの変換アダプター
	規格	—
	仕様詳細	・ $\phi 500$ ・ 消火栓用コンクリート製ボックス単口 B [角型] (内径350×450) からレジンコンクリート製ボックス [丸型] (内径 $\phi 500$) への変換部品 ・ 参考製品【FB50AG-10-N ダイモン(株)】(別紙 F - 1)、【RB50A10AD 草竹コンクリート工業(株)】(別紙 F - 2) 参照

②⑦～②⑨	名称	レジンコンクリート製ボックス用 (緊結) ボルト
	規格	JIS
	仕様詳細	・ ②⑦M12×110mm ・ ②⑧M12×150mm ・ ②⑨M16×110mm ・ 1組の内容は【受枠固定用ボルト3本、六角ナット3個、ワッシャー3個】材質はすべてSUSとする

③⑩	名称	止水栓ボックス
	規格	—
	仕様詳細	・ 材質 FC200 H=300mm 黒色 (別紙 G) 参照



接水	品番	部 品 名	材 質	規 格 番 号	記 号	摘 要
○	1	弁箱	青銅鑄物6種	JIS H 5120	CAC406	鉛除去表面処理
○	2	弁ふた	青銅鑄物6種	JIS H 5120	CAC406	鉛除去表面処理
○	3	弁棒	鍛造用黄銅棒	JIS H 3250	C3771BE	鉛除去表面処理
○	4	Oリング	合成ゴム	JIS B 2401	NBR	
○	5	弁体	青銅鑄物6種	JIS H 5120	CAC406	鉛除去表面処理
○	6	リング	りん青銅棒	JIS H 3270	C5212B	
○	7	押えナット	青銅鑄物6種	JIS H 5120	CAC406	
○	8	Oリング	合成ゴム	JIS B 2401	NBR	
	9	ハンドル	青銅鑄物6種	JIS H 5120	CAC406	
	10	垫金	海軍用ステンレス鋼板	JIS G 4305	SUS304-CP	
	11	六角ボルト	ステンレス鋼棒	JIS G 4303	SUS304-B	
	12	ネームプレート	アルミニウム合金板	JIS H 4000	A1070P	

注：部品表「接水」欄の○印及び 部品引出し番号の●印は、水道水との接水部をしめす。

(mm)						
呼 び	L	H	D	d1	d2	t
30	112	183	G1 1/2	30	30	4.5
40	112	197	G2	40	40	4.5
50	158	220	G2 1/2	50	47	5

(別紙B) 円形鉄蓋3号(消火栓用)仕様規格

第1条 鉄蓋

(総則)

今回発注する鉄蓋は、「大阪広域水道企業団市町村域水道事業 円形鉄蓋 規格仕様書」に基づき、監督職員の指示に従って納入しなければならない。

(承諾)

納入にあたっては、事前に承諾函を提出し、監督職員の承諾を得なければならない。

(仕様)

納入する鉄蓋の仕様は別紙のとおりとする。

(別紙C) 鉄蓋の仕様

種類	蓋表面に表示する文字等			表示色	空気抜き 穴	取手	その他
	文字①	文字②	その他				
3号 (500 mm)	消火栓	—	消防車	ベース及び文字は黄色 消防車は赤色	—	—	別紙D 6 6-1 表 2 記号 欄参照

**(別紙D) 大阪広域水道企業団 市町村域水道事業
円形鉄蓋 規格仕様書**

1 適用範囲

この仕様書は、大阪広域水道企業団の水道センターが使用する円形鉄蓋（以下、「鉄蓋」という。）について規定する。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この仕様書に引用されることによって、この仕様書の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JWWA B 132	水道用円形鉄蓋
JIS B 0205-4	一般用メートルねじー第4部：基準寸法
JIS B 7502	マイクロメータ
JIS B 7503	ダイヤルゲージ
JIS B 7507	ノギス
JIS B 7512	鋼製巻尺
JIS G 5502	球状黒鉛鑄鉄品
JIS Z 2201	金属材料引張試験片
JIS Z 2241	金属材料引張試験方法
JIS Z 2243	ブリネル硬さ試験－試験方法
JIS Z 8401	数値の丸め方

3 定義

この仕様書で用いる主な用語の定義は、次による。

- a) 鉄 蓋：蓋と受枠との総称。
- b) 急勾配受け：蓋と受枠との接触面を急勾配とし、嵌合させた際の蓋のがたつきを防止した構造。
- c) 蝶 番：蓋と受枠とを連結し、蓋を開閉するときに転回、旋回の中心として作用する金具。
- d) 閉 塞 蓋：雨水及び土砂の流入を少なくするため、蓋の開閉用穴を自動的に塞ぐ小蓋。
- e) 形 式 試 験：鉄蓋がその設計によって、決定された形式どおりに作られているかどうかを確認するための試験。なお、形式とは性能、構造、形状及び寸法。

4 種類

鉄蓋は T-25 荷重仕様とし、その種類は表 1 のとおりとする。

表 1 鉄蓋の種類

種類	適用
1 号 (250)	仕切弁用
2 号 (350)	
3 号 (500)	仕切弁用、空気弁用、消火栓用
4 号 (600)	仕切弁用、空気弁用、消火栓用、流量計用

5 性能

鉄蓋の性能は、日本水道協会規格 (JWWA B 132 : 2007) 5 性能の規定による。

6 構造、形状及び寸法

6-1 構造及び形状

- a) 蓋と受枠との接触面は、機械加工して急勾配受けとし、蓋のがたつきを防止できる構造とする。なお、こう配は衝撃による蓋の飛び上がりを防止できる角度とする。
- b) 蓋と受枠とは、蓋の逸脱防止のため蝶番にて連結した構造とする。
- c) 受枠とボックスの上部壁とは、ボルトにて緊結できる構造とする。
- d) 開閉器具用穴は、1 か所設ける。また、3 号及び 4 号鉄蓋は、開閉補助用穴を 2 か所設ける。
- e) 蓋の表面模様は、表 2 に規定する文字及び記号を入れ、別図 1 のとおりとする。ただし、蓋製作上、模様を修正する必要がある場合は、修正が最小限となるようにすること。
- f) 蓋は、雨水及び土砂の流入をできるだけ防止するため、開閉器具用穴に閉そく蓋を取り付けた構造とする。
- g) 空気弁用鉄蓋については、蓋上面に空気抜き穴を設けることができる。
- h) 消火栓用を除く 4 号鉄蓋は、蓋裏の開閉器具用穴部分に不法開放防止用の自動錠を取り付けた構造とする。また、別図 2 による開閉用器具を挿入すれば、自動錠の開錠が可能な構造とする。

表2 文字及び記号

種類	文字①	文字②	記号	適用
1号・2号	仕切弁	広域水道	下記参照	
	バルブ	広域水道	下記参照	
3号・4号	仕切弁	広域水道	下記参照	
	空気弁	広域水道	下記参照	
	消火栓	駐車禁止	下記参照	消防車の模様を設ける
	消火栓	—	下記参照	消防車の模様を設ける
4号	流量計	広域水道	下記参照	

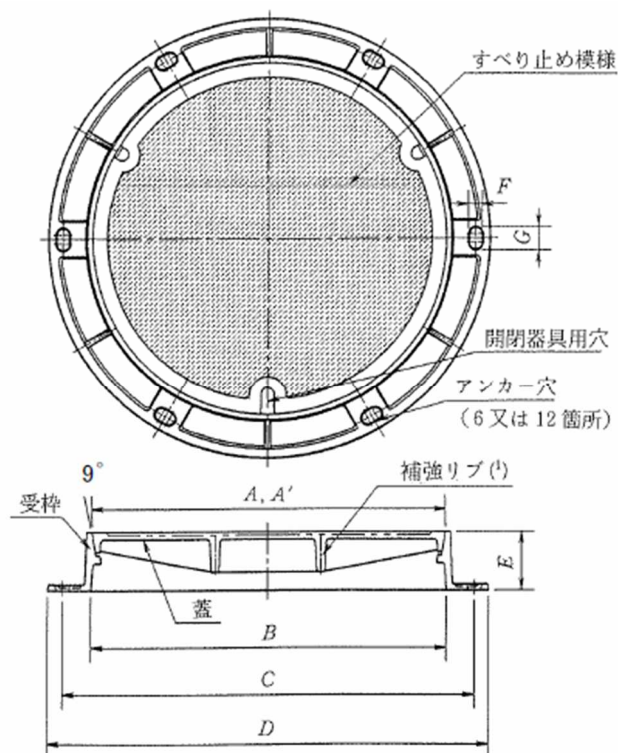
※記号については次のとおりとする。



6-2 寸法

鉄蓋の主要寸法は、表3による。

表3 鉄蓋の主要寸法



単位:mm

種類	A,A' (参考)		B		C		D		E		F		G	
	寸法	許容差	寸法	許容差	寸法	許容差	寸法	許容差	寸法	許容差	寸法	許容差	寸法	許容差
1号	230	±0.3	250	±3.1	310	±3.1	360	±3.1	150	±2.5	16	±1.5	25	±1.6
2号	330		350		±3.5	430	±3.5							
3号	530		500	±3.5		600	660	±4	100	±2.2	22	±1.6	40	±1.8
4号	630		600		700	±4	760							
注 ⁽¹⁾ 蓋の補強リブを設けた場合を示す。														
備考1. Aは蓋の外径寸法、A' は受枠の内径寸法を示す。														
備考2. Bは、受枠のフランジ内径の寸法であり、有効内径とは異なる。														
備考3. ボックスと緊結するボルトについては、1号はJIS B 0205-4のM10、2号はM12、3号及び4号はM16を標準とする。														

7 外観

鉄蓋の外観は、日本水道協会規格（JWWA B 132：2007） 7 外観の規定による。

8 塗料

鉄蓋の塗料は、日本水道協会規格（JWWA B 132：2007） 8 塗料の規定による。

9 材料

鉄蓋の材料は、日本水道協会規格（JWWA B 132：2007） 9 材料の規定による。

10 試験方法

試験方法は、日本水道協会規格（JWWA B 132：2007） 10 試験方法の規定による。

11 検査の実施

11-1 形式試験

形式試験は、鉄蓋の種類ごとに製造業者の製作図、製作仕様書及び箇条6～箇条9、並びに箇条12の規定に適合していることを確認した上で、箇条10の試験を行い、箇条5の規定に適合しなければならない。

なお、製造業者は、試験結果を記録、保存し、本企業団の要求がある場合は提出しなければならない。

11-2 製品検査

製品検査は、性能、構造、形状、寸法、外観、材料及び表示について行う。

11-3 検査費用の負担

検査に供する製品及び検査費用については、製造業者の負担とする。

1 2 表示

蓋の裏面には、製造業者の責任表示として次の事項を鋳出し、又は容易に消えない方法で表示しなければならない。

- a) 材料記号（FCD700 等）
- b) 製造年又はその略号
- c) 製造業者名又はその略号

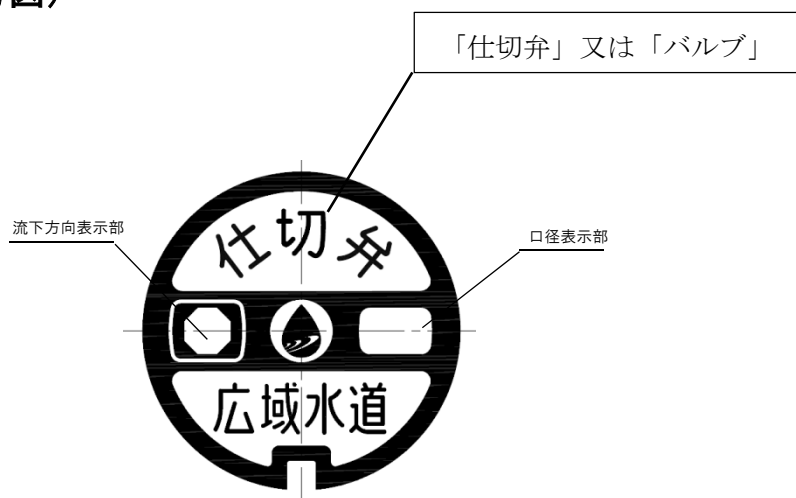
1 3 製造

鉄蓋は、日本水道協会検査工場に登録された工場において製造するものとする。

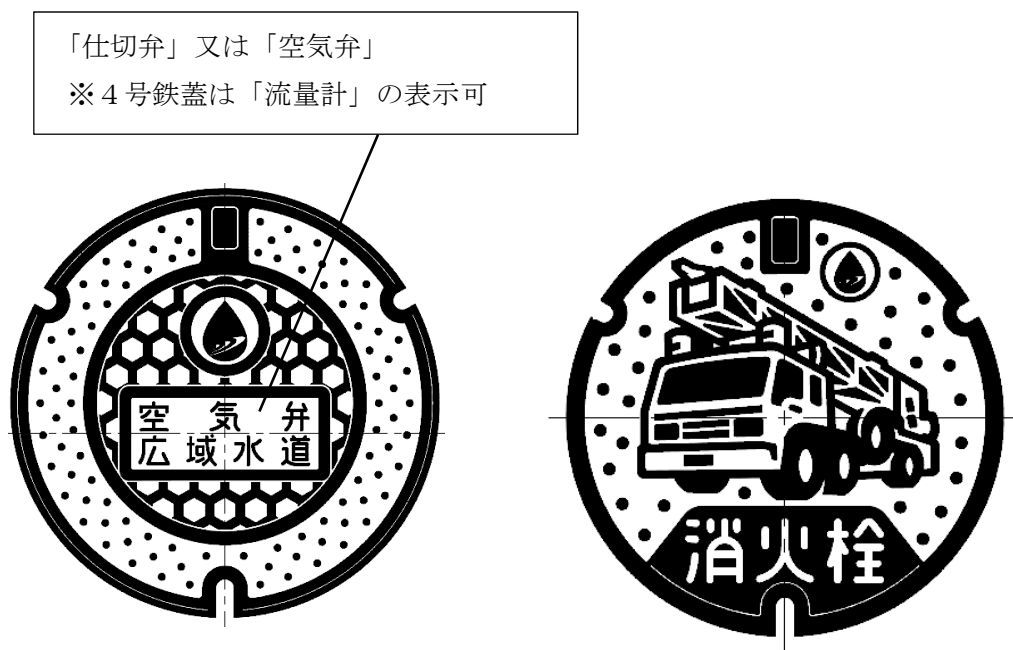
1 4 疑義

本仕様書に定めのない事項については、監督職員と協議し、その指示によること。

別図 1（参考図）



（1号・2号鉄蓋）



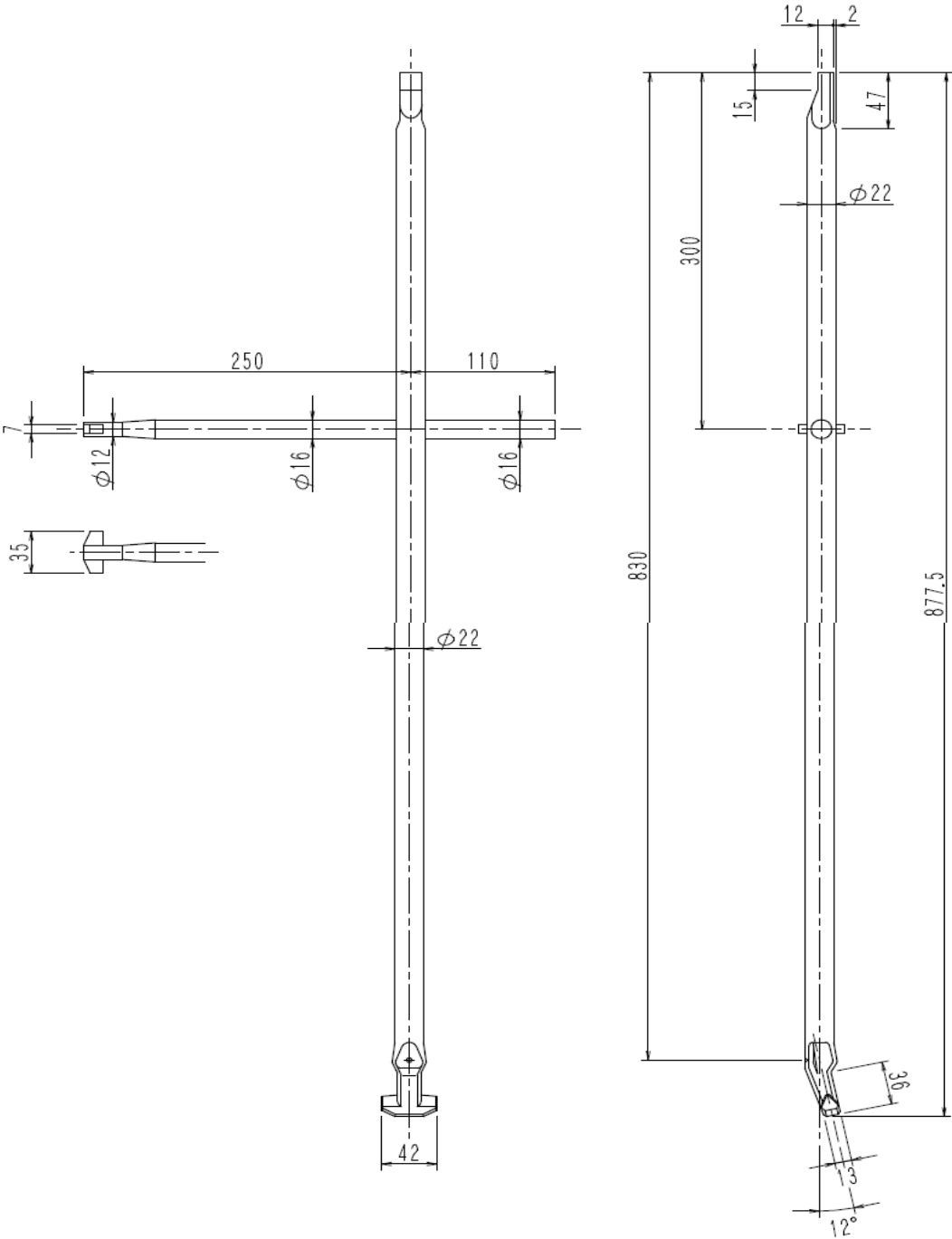
※「駐車禁止」の文字の表示可

（3号・4号鉄蓋）

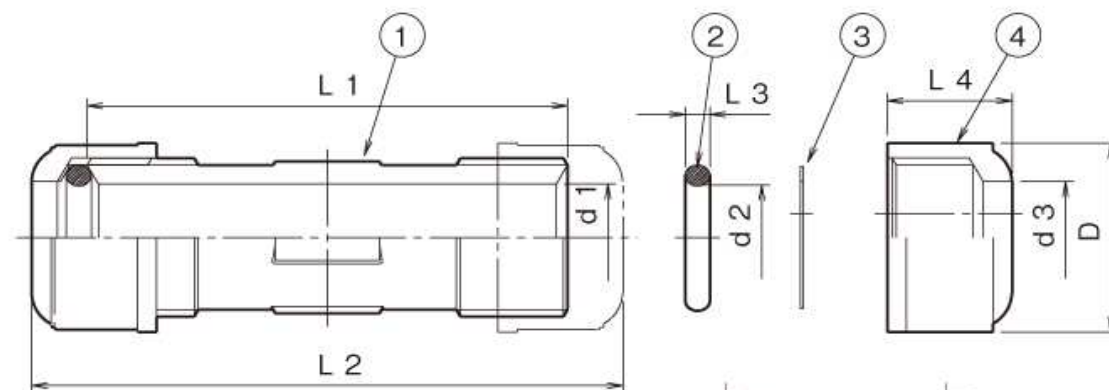
別図 2 (参考図)

開閉用器具

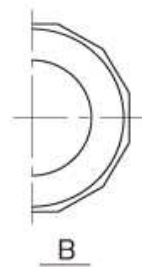
単位 (mm)



(別紙 E)

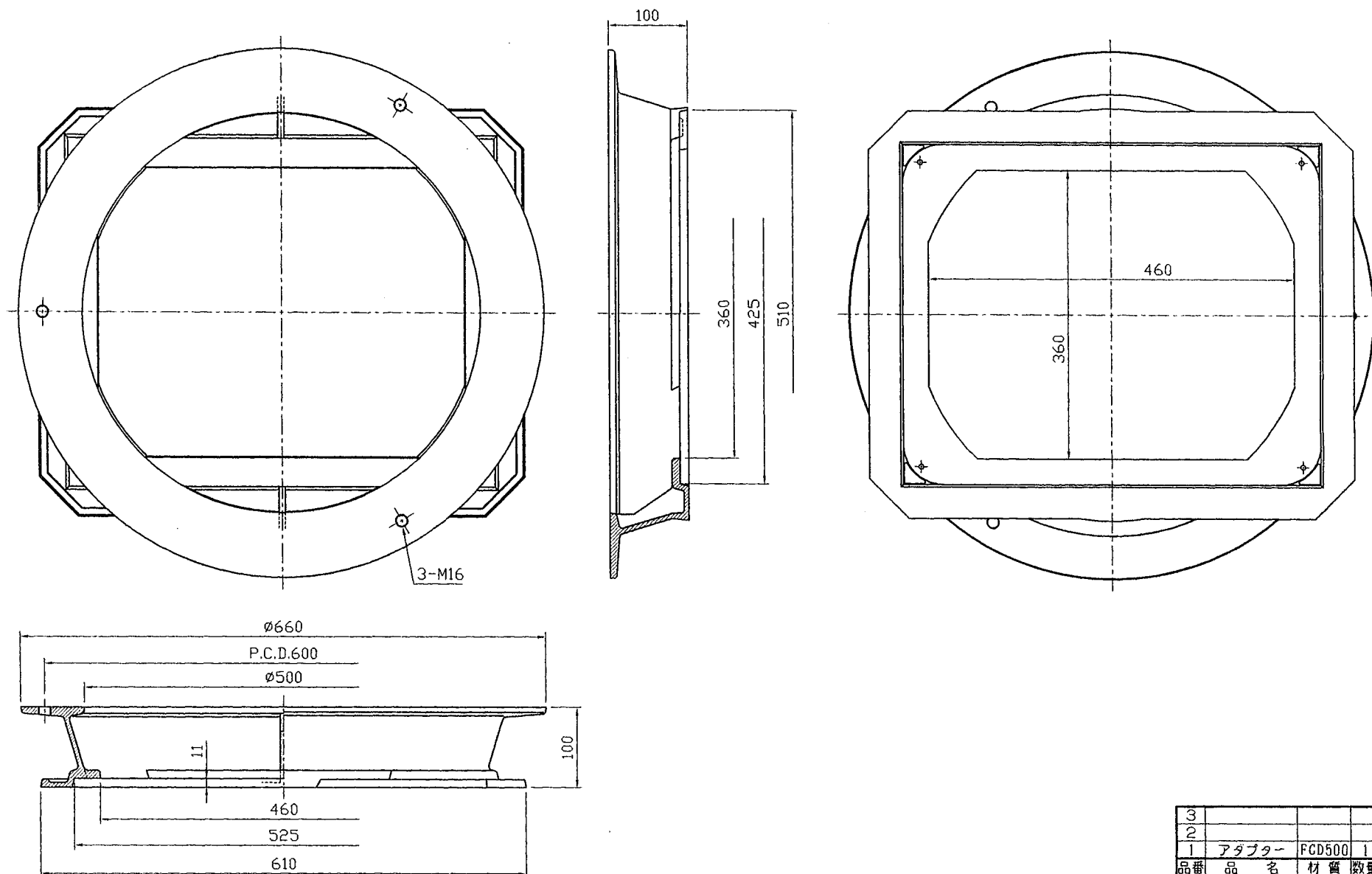


番 号	品 名	材 質	数 量
1	本 体	硬質塩ビ	1
2	ゴムリング	合成ゴム	2
3	ワッシャー	硬質塩ビ	2
4	ナット	硬質塩ビ	2



ナット A : VP13~VP25、
GP20A、GP25A
ナット B : VP30~VP50、
GP32A

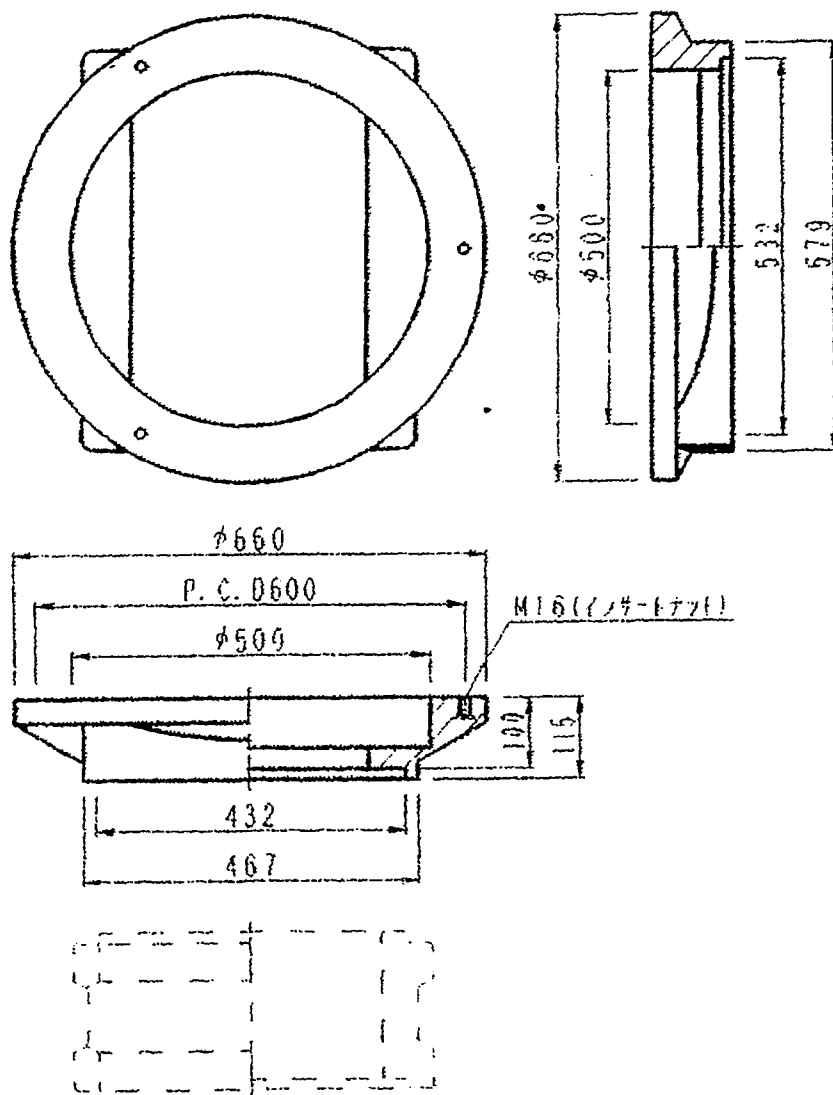
(別紙 F - 1)



3				
2				
1	アダプター	FCD500	1	亜鉛メッキ
品番	品名	材質	数量	備考
CODE	FB50AG-10-N			
名	D-Unit 50型			
称	G壁用 鋳鉄製上部アダプター			

(別紙 F - 2) レジンボックス変換アダプター

RB50A10AD



(別紙 G)

